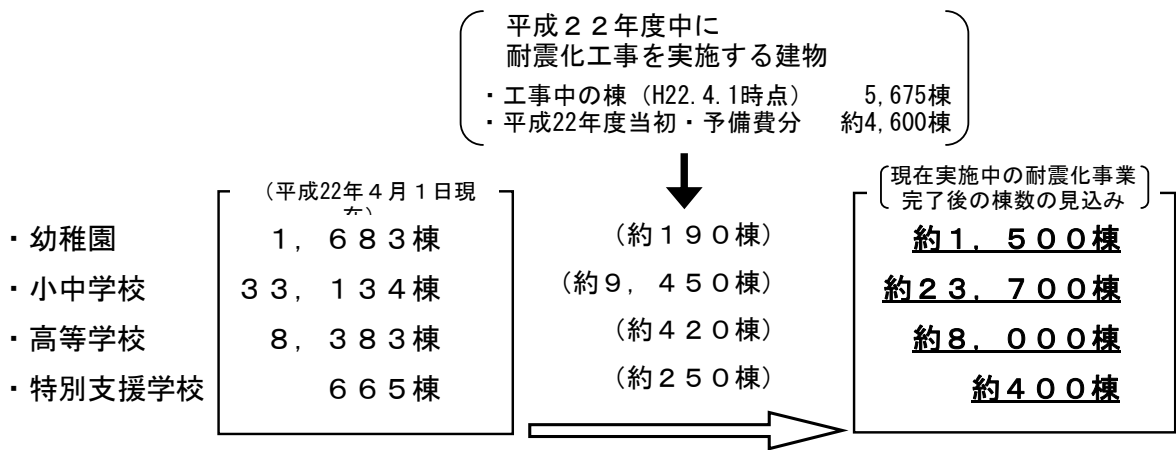


# 公立学校施設の耐震化の進捗状況

## <全公立学校種別>

◇ 耐震性がない<sup>(※)</sup>、または耐震診断未実施の建物



※「耐震性がない建物」には、耐震性が確認されていない建物を含む。

## <公立小中学校についての詳細>

文部科学省では、地方自治体から要望された耐震化について、全て予算措置してきた。

	耐震性がない <sup>(※1)</sup> または耐震診断未 実施の建物	Is値0.3未満	Is値0.3以上等
平成21年4月1日現在	約41,200棟	約7,300棟	約33,900棟
平成21年度中の解消棟数	△約8,100棟	△約1,700棟	△約6,400棟
0.3未満の出現率の見直しによる推計分等の増 <sup>(※2)</sup>	—	約1,900棟	△約1,900棟
平成22年4月1日現在	約33,100棟	約7,500棟	約25,600棟
工事中の棟数	△約5,100棟	△約1,600棟	△約3,500棟
22年度当初・予備費	△約4,300棟	△約1,300棟	△約3,000棟
現在実施中の耐震化事業完了後の棟数の見込み	約23,700棟	約4,600棟	約19,100棟

※1 耐震性が確認されていない建物を含む。  
 ※2 平成21年度は、2次診断等が大幅に進捗し、想定以上にIs値0.3未満と診断された。また今回、2次診断等によるIs値0.3未満の出現率について、平成21年度の診断結果の実績も加味して再検討し見直した結果、今後2次診断等を実施したらIs値0.3未満と診断される見込みの建物が増えた。これらの結果、Is値0.3未満と推計される建物は想定より約1,900棟増えた(平成22年4月1日現在)。